

ADVANCE

平成26年度 1年A組

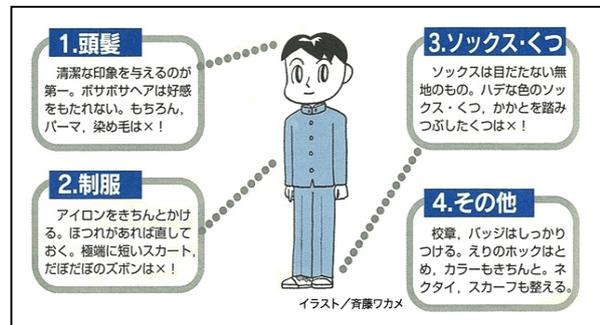
霜月 / 12

学級通信 96 号

～一歩前へ進もう～ 身だしなみに気を使おう

いよいよ明日から2日間、職場体験学習へ出かけます。学校を離れて、社会の中に入っていくことになるので、いろいろ厳しいところもあるかもしれません。担当の先生から言われたことをしっかりと守って、2日間頑張ってきてください。

その中で「身だしなみ」の話があったと思います。自分で楽しむのが「おしゃれ」で相手を気遣うのが「身だしなみ」です。そして「身だしなみ」は服装だけでなく、言葉遣いや立ち振る舞い、つまりすべての言動が含まれます。制服やジャージの着方やあいさつ、返事などは基本中の基本で、それにプラスして敬語やきびきびとした動作、物をもったり渡したりするときの所作など様々なことに気を配らなくてはなりません。



普段何気なく当たり前に使っている言葉や動作が、目上の人に対してはとても失礼なことになってしまうこともたくさんあります。例えば、敬語を使っているけれど、人が話しているときに横から入ってきて勝手に話し始めるのは失礼です。元気で明るく話をするのは良いけれど、時と場合に応じて声の大きさは調節する必要もあります。物を受け取ったり渡したりするとき、小さなものなら仕方ありませんが、紙などの場合、両手で行うのが当然です。また服装も、実はくるぶし靴下は正式な場面では失礼に当たります。入試などでははいて行かないので、もし明日も少し長い靴下あれば、それをはいていきましょう。

みんなはまだ子どもなので、どうしても自分のことを優先してしまいがちです。でもそろそろ、人の気持ちを思いやったり、周りのことを優先したりすることが自然にできるようにならないといけない年頃です。職場体験学習を通して、働くことだけでなく、そういう人として「当たり前」の行いも学ぶことができるといいですね。

連載「働くこと」その

忙しく厳しい生活の中で心がけていたことは2つ。1つはとにかくクラスの子供と一緒にいること。2回ある放課のうち、1回は必ず外で一緒に遊んだ。ドッジボールやバスケットをした。もう1回は教室にいる子たちと話をして過ごした。

もう1つはとにかく何でも一緒に働いている先生に話をした。困ったことはもちろん、うまくいったことも話した。周りの先生たちは「私はこうしたよ」という体験を話してくれ、それがどんな本よりもありがたかった。教室でも職員室でも「孤独」を感じることは1度もなかった。いつもクラスの児童や同僚の先生たちに救われていた。 つづく